

# 7 平成18年度 大阪府における児童・生徒の問題行動等の状況について

■学校数 公立小学校 1,018校 中学校 462校 (政令市除く：小626校 中290校)

## ◇暴力行為

平成18年度中の公立小中学校における暴力行為の発生件数は、4,586件で、平成17年度に比べ大きく増加した。

暴力行為の発生件数(件)

	H16	H17	H18	府出現率	全国出現率
小学校	320	293	442	0.09%	0.05%
中学校	4,161	3,863	4,144	1.92%	0.89%

・千人あたりの発生件数は全国で7位である。

## ◇いじめ

平成18年度中の公立小中学校における「いじめ」の認知件数は、新定義による調査の初年度であり、平成17年度に比べ大きく増加し、3,559件であった。

いじめの認知件数(件)

	H16	H17	H18	府出現率	全国出現率
小学校	336	266	1,622	0.33%	0.86%
中学校	822	744	1,937	0.90%	1.49%

・平成18年度より、いじめの定義が変更され、急増した。併せて、発生件数から認知件数に変わった。  
・千人あたりの認知件数は全国で36位である。

## ◇不登校

平成18年度中の公立小中学校における不登校児童生徒数は、9,079人で平成17年度より減少したが依然高水準で推移している。

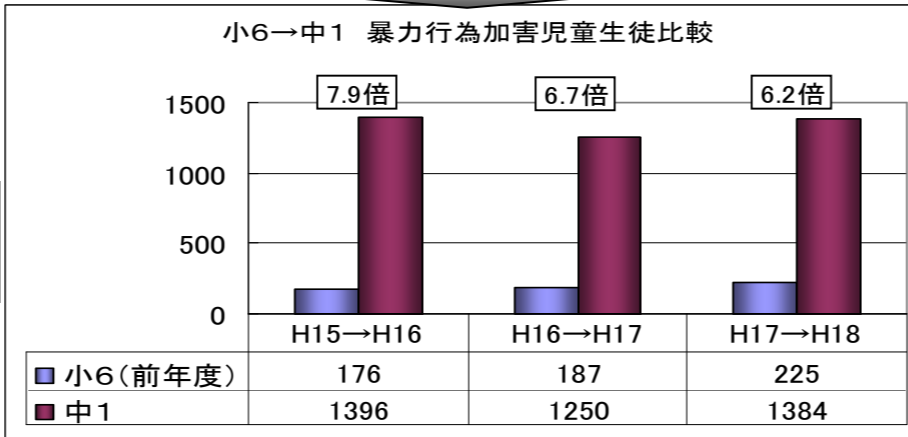
不登校児童生徒数(人)

	H16	H17	H18	府出現率	全国出現率
小学校	1,927	1,824	1,610	0.33%	0.33%
中学校	8,469	7,974	7,469	3.47%	3.01%

・千人あたりの不登校児童生徒数は、全国で12位である。  
・府内公立中学校不登校における不登校生徒数は、平成13年度をピークに5年連続減少した。

### 全ての課題が小6から中1で大きく増加

小6→中1 暴力行為加害児童生徒比較



1,200

1,000

800

600

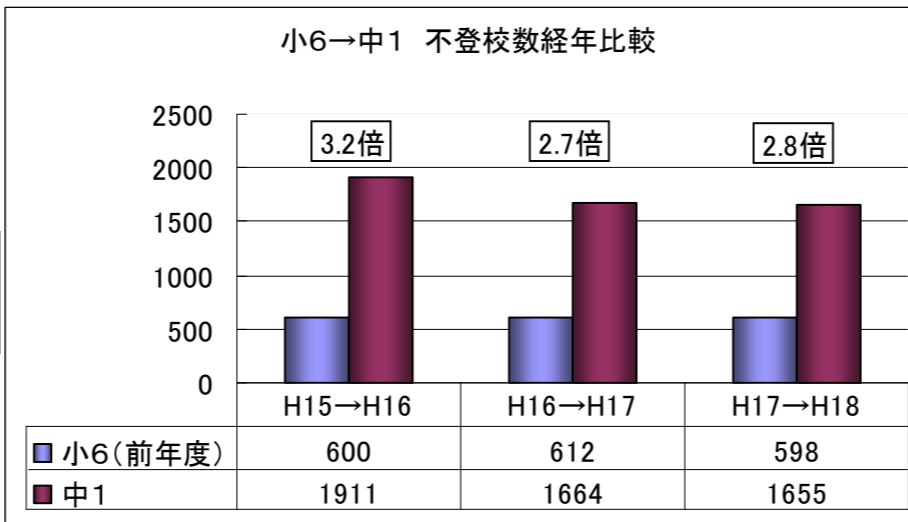
400

200

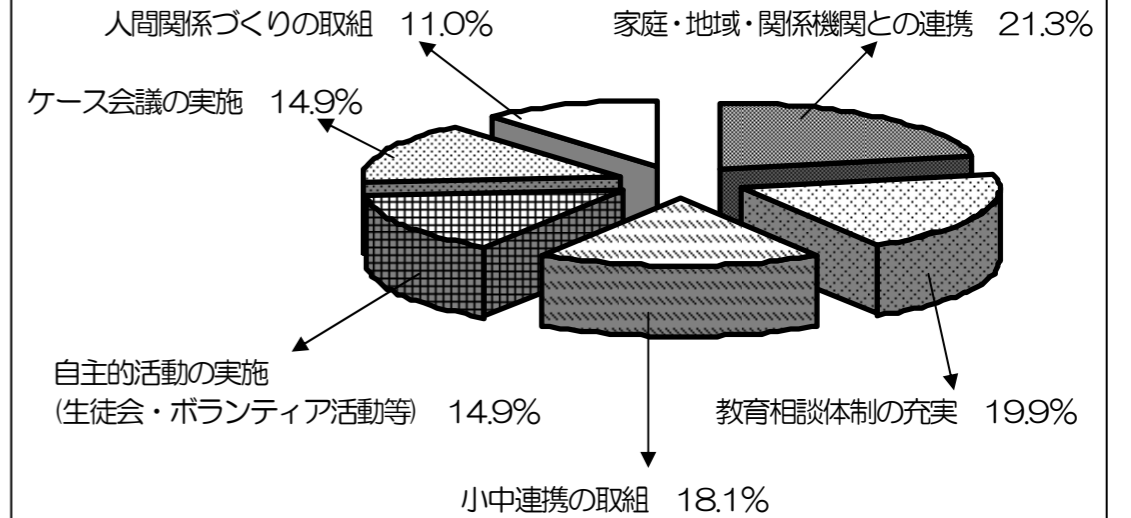
0

小1 小2 小3 小4 小5 小6 中1 中2 中3

小6→中1 不登校数経年比較



(参考1) コーディネーター教員配置中学校における効果的な取組み (%)



(参考2) 中学校が課題解決のために必要とする外部人材等 (%)

